



第22回 「Introduction to agent skills」 Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

スキルとは何か

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Introduction to agent skills / What are skills?

3つめのコースに入ります。全6回のうちの第1回です

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第22回

今日のレッスン



原石工房

Introduction to agent skills の第1回

原題 What are skills?

訳 スキルとは何か

チームの決まりを説明するたび、同じことを繰り返しています

① スキルとは何か



原石工房

原題 What Skills Are

スキルは、手引きを入れたフォルダ

pr-review / フォルダ

SKILL.md

頭の札書きに、名前と説明

その下に、手引き

見直しの確かめ表、形の好み、知っておくべきこと

名前 そのスキルを見分けるためのもの

説明 いつ使うのかを Claude に伝える

ここが、当てはめの決め手になります

頼みごとを、使えるスキルの説明すべてと見比べます

やり方を、一度だけ教えておく

スキルは、手引きと材料を入れたフォルダです

1つのスキルは SKILL.md に入り、頭に名前と説明を書きます

説明が、Claude が「使うかどうか」を決めるところです

① 名前と、説明



原石工房

スキルは、手引きを入れたフォルダ

pr-review / フォルダ

SKILL.md

頭の札書きに、名前と説明

その下に、手引き

見直しの確かめ表、形の好み、知っておくべきこと

名前 そのスキルを見分けるためのもの

説明 いつ使うのかを Claude に伝える

ここが、当てはめの決め手になります

頼みごとを、使えるスキルの説明すべてと見比べます

名前 そのスキルを見分けるためのもの

説明 いつ使うのかを伝える。ここが当てはめの決め手です

2つめの --- から後ろが、Claude が従う手引きです

やり方を、一度だけ教えておく

② 自分の分



原石工房

原題 Where Skills Live

誰に要るかで、置き場所を変える

自分の分

`~/.claude/skills`

どのプロジェクトにも付いてくる

確定のときの説明文の書き方、書類の形、説明のしかた

プロジェクトの分

`.claude/skills`

持ってきた人みんなが使える

会社の見た目の決まり、使う書体、ウェブの色

Windows では C:/Users/<自分の名前>/\.claude/skills

~/.claude/skills (自分のホームのフォルダ) に置きます

どのプロジェクトにも付いてきます

確定のときの説明文の書き方、書類の形、説明のしかたなど

自分に付いてくるか、仕事に付いてくるか

② プロジェクトの分



原石工房

誰に要るかで、置き場所を変える

自分の分

`~/.claude/skills`

どのプロジェクトにも付いてくる

確定のときの説明文の書き方、書類の形、説明のしかた

プロジェクトの分

`.claude/skills`

持ってきた人みんなが使える

会社の見た目の決まり、使う書体、ウェブの色

Windows では C:/Users/<自分の名前>/.claude/skills

自分に付いてくるか、仕事に付いてくるか

そのプロジェクトのいちばん上のフォルダの中の `.claude/skills` に置きます

そのプロジェクトを持ってきた人は、自動でこのスキルも手に入ります

Windows では C:/Users/<自分の名前>/.claude/skills です

② チームで分け合う



原石工房

誰に要るかで、置き場所を変える

自分の分

`~/.claude/skills`

どのプロジェクトにも付いてくる

確定のときの説明文の書き方、書類の形、説明のしかた

プロジェクトの分

`.claude/skills`

持ってきた人みんなが使える

会社の見た目の決まり、使う書体、ウェブの色

Windows では C:/Users/<自分の名前>/\.claude/skills

プロジェクトの分は、プログラムと一緒に記録に残されます

だから、チーム全員が同じものを使えます

会社の見た目の決まり、使う書体、ウェブの色などを置きます

自分に付いてくるか、仕事に付いてくるか

③ ほかのやり方との違い



原石工房

原題 Skills vs. CLAUDE.md vs. Slash Commands

読み込まれ方が、3つとも違う

CLAUDE.md

どのやりとりにも、必ず読み込まれる

いつも守ってほしいことを書く

スキル

当てはまったときだけ、読み込まれる

最初は名前と説明だけ。場所を食いつぶさない

/で始まる命令

自分で打ち込まないと、動かない

呼ぶのは、こちら

当てはまると、画面でそれが読み込まれるのが見えます

CLAUDE.md は、どのやりとりにも読み込まれます

スキルは、当てはまったときだけ読み込まれます

/で始まる命令は、自分で打ち込まないと動きません

ひとりでに動くのは、スキルだけ

③ 場所を食いつぶさない



原石工房

読み込まれ方が、3つとも違う

CLAUDE.md

どのやりとりにも、必ず読み込まれる

いつも守ってほしいことを書く

スキル

当てはまったときだけ、読み込まれる

最初は名前と説明だけ。場所を食いつぶさない

/ で始まる命令

自分で打ち込まないと、動かない

呼ぶのは、こちら

当てはまると、画面でそれが読み込まれるのが見えます

ひとりでに動くのは、スキルだけ

Claude が最初に読むのは、名前と説明だけです

見直しの確かめ表は、不具合を調べているときには要りません

当てはまると、画面でそれが読み込まれるのが見えます



CLAUDE.md

いつも、全部

どのやりとりにも読み込まれる。だから短く保つ

スキル

要るときだけ

最初は名前と説明だけ。当てはまって、はじめて中身が入る

/ で始まる命令

呼んだときだけ

こちらが打ち込まないと動かない

場所を食わずに、専門の知識を持たせる

④ どんなときに使うか



原石工房

原題 When to Use Skills

決まった仕事に当てはまる、専門の知識

チームが守っている、見直しの決まり

自分が好む、確定のときの説明文の形

会社として決めている、見た目や言葉づかいの決まり

書類の形のひな型（種類ごとに）

不具合を調べるときの確かめ表（仕組みごとに）

同じことを何度も説明しているなら
それは、まだ書かれていないスキルです

繰り返しているものが、見つけ方

チームが守っている、見直しの決まり

自分が好む、確定のときの説明文の形

会社として決めている、見た目や言葉づかいの決まり

④ そのほかに挙がっていたもの



原石工房

決まった仕事に当てはまる、専門の知識

チームが守っている、見直しの決まり

自分が好む、確定のときの説明文の形

会社として決めている、見た目や言葉づかいの決まり

書類の形のひな型（種類ごとに）

不具合を調べるときの確かめ表（仕組みごとに）

同じことを何度も説明しているなら
それは、まだ書かれていないスキルです

書類の形のひな型（種類ごとに）

不具合を調べるときの確かめ表（使っている仕組みごとに）

同じことを何度も説明しているなら、それはスキルにできます

繰り返しているものが、見つけ方

言葉を3つ、確かめます



原石工房

スキル

やり方をまとめて覚えさせておく仕掛け。フォルダ1つが、スキル1つ

SKILL.md

そのスキルの中身と、いつ使うかを書いたファイル。頭に名前と説明を書く

頭の札書き

ファイルのいちばん上を --- で囲った中に書く、名前や説明などの覚え書き

今回のまとめ



原石工房

スキルは、手引きを入れたフォルダ。中身は SKILL.md

説明が、使うかどうかの決め手になる

置き場所は2つ。自分に付いてくるか、仕事に付いてくるか

CLAUDE.md はいつも、スキルは要るときだけ、命令は呼んだときだけ

同じことを何度も説明しているなら、それはスキルにできる



Introduction to agent skills の第2回

原題 Creating your first skill

訳 最初の1つを作る

スキルを最初から1つ作り、当てはめの裏側を見ます

全51回の、23回目です

同じ説明を、何度繰り返していますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く